

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を認知症専門の介護職員に育てるために認知症の専門知識の習得が必要。問題点はそれがないままにただマニュアル通りに新人教育を行っている点にある。入居者様にとって職員全員が理解者でなければ介護は成り立たない。	職員全員の認知症に関する専門知識の習得	認知症介護についての外部研修参加 全体会議での定期的な講習	12ヶ月
2	14	GH協議会での《気付き》の研修の継続については1回で終わりではなく継続して行い、職員が《気付き》の大切さを学べる場を提供できるようにしていきたい。今は試行錯誤の段階である。	認知症の方が求めているものが何かを把握する力をつける	具体的な方法については、今後の協議会で話し合いが必要であるが、継続することは決定している。	12ヶ月
3	48	楽しみごと、気分転換については、ボランティアとの交流を月1回行っているが、もう少し来訪してくれるボランティアを増やしたい。	観るだけのものではなく参加して一緒に楽しめるボランティアに来てもらう	他のグループホームからの情報、社会福祉協議会や行政(高齢者福祉課)などからの情報を集めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月